



色麻町で暮らすという選択

色麻 NAVI

宮城県色麻町

しかまから～

Ver.
2

SHIKAMA COLOR

あたり前の風景が 何よりも大切な宝物

船形連峰の豊かな森が育んだ水が潤す肥沃な大地に

大崎耕土の一角をなす風光明媚な田園地帯が広がります。

豊かな自然と清らかな湧水に恵まれたこの町は

子どもからお年寄りまで、みんなが人の温かさで繋がり

(時々河童)に守られて笑顔で暮らせるところ。

四季折々に変わっていく、あたり前の風景こそが色麻の宝物です。

宮城県 色麻町

もくじ

P.02

色麻町について

P.03

色麻町の自然と文化

P.05

色麻町の暮らし

P.07

地域おこし協力隊

P.11

子育て支援

P.12

地域活性化住宅

P.13

支援制度

ABOUT SHIKAMA Town

色麻町について

色麻町

「しかま」の由来

「しかま」の歴史は実に奈良時代の天平9年(737年)の『続日本紀』の記述にまでさかのぼることができます。『続日本紀』には、天平9年(737年)に「色麻柵(しかまのさく)」の名が登場します。

将軍大野東人が多賀柵を出発し、色麻を拠点に約6000人の兵を集め、出羽国へ向けて軍事行動を起こしたという記述があります。

色麻は、古代東北の軍事拠点としても重要な役割を担っており、その色麻柵に移住したのが、現在の兵庫県飾磨(しかま)から柵戸だったという説明があります。



色麻町へのアクセス

JR	●東北新幹線古川駅	
	ミヤコーバス	30分→
車	●陸羽東線西古川駅	
	ミヤコーバス	15分→
	●東北自動車道 大和I.C.	30分→
	大衡I.C.	20分→
バス	古川I.C.	30分→
	三本木スマートI.C.	15分→
	●仙台市より国道4号	60分→
	●ミヤコーバス仙台加美線	
	仙台駅前	60分→

色麻町

色麻町ってどんな町？

面積

109.28 km²

町の西部には船形連峰の雄大な山々が広がり、豊かな森林や清らかな水に恵まれています。

人口

約6,000人

大きすぎず小さすぎない規模だからこそ、地域とのつながりを感じながら、自分らしい暮らしを実現できます。

世帯

約2,100世帯

一人ひとりの顔が見える温かなコミュニティが広がり、地域の支え合いの中で安心して暮らせる町です。

気温

年間平均 11.5℃

四季折々の表情を楽しめる気候に恵まれ、自然の変化を身近に感じながら心豊かに暮らせる環境です。

四季を楽しみ 人とつながる 色麻町の自然と文化

船形連峰の山々や森から流れ出す清らかな水。色麻町では、豊かな自然とともに人々の暮らしや地域の文化が育まれてきました。河童にまつわる伝承や古くから信仰を集めてきた神社地域の人々が大切に守ってきた風景。色麻町を歩いてみると、この土地ならではの物語や自然とともに暮らしてきた人々の営みに出会えます。

船形山

ふながたやま

色麻町の西部にそびえる船形山は、宮城県立自然公園船形連峰の中心に位置する地域を代表する山です。

山頂部分が船を伏せたような形に見えることから、「船形山」と呼ばれるようになったと伝えられています。豊かな森林が蓄えた水は、川や湧水となって里を潤し、色麻町の田園風景や人々の暮らしを支えています。

登山や自然観察などを通して、季節ごとの山の表情を身近に感じられます。



鈴沼

すずぬま

大滝野営場から歩いて約10分。ブナをはじめとする豊かな森に囲まれた鈴沼は、静かな水面に周囲の木々を映す神秘的な雰囲気のある場所です。

春から夏にかけては鮮やかな新緑、秋には色づく木々が水面を彩り、季節によって異なる表情を楽しめます。森の音や風を感じながら、ゆっくりと過ごしたくなる色麻町の自然スポットです。



磯良神社

いそらじんじや

町内の一の関地区にある磯良神社は、地域の人々から「おかつぱ様」と呼ばれ、古くから大切に守られてきました。木彫りの河童をご神体として祀る珍しい神社で、安産や縁結び、水難よけなどのご利益があるとされ、町内外から信仰を集めています。

色麻町に河童の物語が息づいていることを感じられる町を代表する文化的な場所の一つです。



山々が
白い雪の衣をまとい、
本格的な
冬の訪れを告げます。

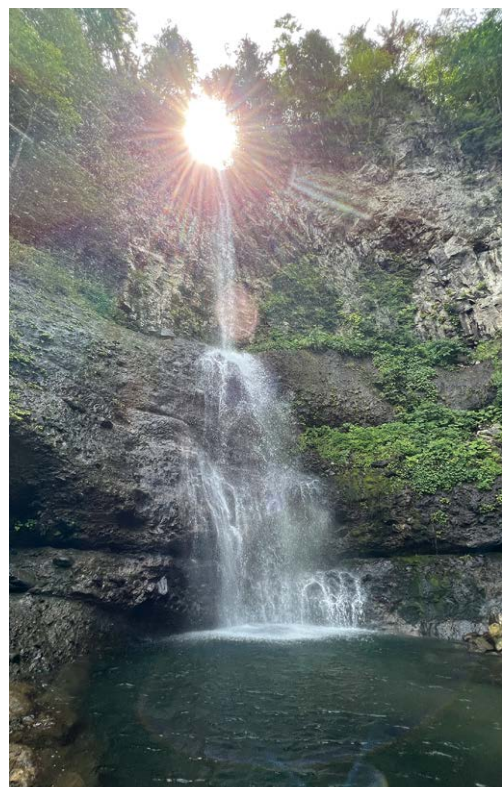


色麻大滝

しままおたき

大滝野宮場へと続く林道沿いにある色麻大滝。落差約41メートルを流れ落ちる色麻町を代表する自然景観の一つです。

通常は二段に分かれて流れていますが、雪解けによって水量が増す春には、勢いのある水が一直線に落ちるような迫力ある姿を見せます。新緑や紅葉など、周囲の森が季節ごとに変化するのも魅力で自然の力強さを間近に感じられる場所です。



河童の伝承

色麻町では、古くから河童にまつわる伝承が語り継がれてきました。その象徴となっているのが、木彫りの河童をご神体として祀る磯良神社です。

現在も河童は、町の公式マスコットキャラクターや温泉施設、公園など、町のさまざまな場所に登場します。

少し不思議で、どこか親しみのある河童の物語は、自然とともに暮らしてきた色麻町の歴史や文化を、今に伝えています。

色麻町の公式 マスコットキャラクター



活平くん

麻子ちゃん

色麻町の河童伝承から生まれた公式マスコットキャラクター、活平ちゃんと麻子ちゃん。町内の行事やイベントなどに登場し、色麻町の魅力を元気に発信しています。町の人に親しまれながら、子どもから大人までをつなぐ存在です。



農業伝習館

何気ない時間が 少し特別になる 色麻町の暮らし

空を広く感じられる公園を歩いたり、季節の花を眺めたり、温泉で一日の疲れを癒したり。色麻町では、自然を身近に感じる時間が日々の暮らしの中にあります。町内には、医療・保健・福祉を支える施設もあり、子どもから高齢者まで、地域の中で安心して暮らせる環境づくりが進められています。便利さだけでは測れない、ゆとりのある毎日。



約1万株のシャクヤクが咲き誇る愛宕山公園

愛宕山公園

あたごやま
こうえん

町を一望できる高台に広がる愛宕山公園。園内には、パークゴルフ場やサッカー場、研修・宿泊施設の農業伝習館などがあり、子どもから大人まで思い思いの時間を過ごせます。

初夏には赤や白、ピンクなど、色とりどりのアジサイが咲き、園内を鮮やかに彩ります。散歩や外遊び、スポーツなど、暮らしのすぐそばで自然と触れ合える町民の憩いの場所です。



農業伝習館

のうぎょう
でんしゅうかん

愛宕山公園内にある農業伝習館は、研修室や宿泊機能などを備えた施設です。

農業に関する学習や研修をはじめ、町内の団体や企業、学校などの活動にも利用されています。豊かな自然に囲まれた環境の中で、学びや交流、地域とのつながりを深められる場所で河童をモチーフにした外観が特徴です。



色麻町には、公立加美病院をはじめ、加美老人保健施設や保健福祉センターなど、地域の健康と暮らしを支える施設があります。日頃の健康管理から医療、介護、福祉に関する相談や子どもから高齢者までの暮らしを地域全体で支える体制が整えられています。

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることも、移住先を選ぶうえで大切なポイントの一つです。



公立加美病院

地域の医療を支える公立病院。身近な場所に相談できる医療機関があることが毎日の安心につながります。



加美老人保健施設

高齢者の在宅復帰や生活を支援する介護老人保健施設。医療や福祉と連携しながら地域での暮らしを支えています。



保健福祉センター

健康や福祉に関する事業・相談などを行う町民の暮らしに身近な施設です。



地域の中にある医療・保健・福祉の安心

かっぱのゆ

山あいにはたえず平沢交流センター「かっぱのゆ」は、町の人にも親しまれている温泉施設です。アルカリ性のやわらかな湯に浸かり、自然を感じながら、ゆったりとした時間を過ごせます。

敷地内には、地元で採れた農産物などを扱う平沢穀菜センターもあり、温泉とともに地域の恵みを楽しめます。休日はもちろん、仕事や家事の後に気軽に立ち寄れる、暮らしに身近な癒しの場所です。

かっぱのゆに入って、心も身体もリフレッシュ。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

地域を支える 力になろう

地域おこし協力隊

知らない土地へ移り住み、地域の人たちと関わりながら、新しい仕事や暮らしに挑戦する「地域おこし協力隊」。地域のために活動するだけでなく、自分自身の経験や得意なことを見つめ直し、これからの生き方を考えるきっかけにもなる制度です。

地域おこし協力隊って どんな制度？

地域おこし協力隊は、都市部などから地方へ生活の拠点を移した人が、自治体の委嘱を受け、地域の課題解決や活性化に取り組む制度です。

活動期間は原則1年以上3年以下。地域の一人として暮らしながら、住民や事業者、行政などと協力し、その地域に必要な活動を進めていきます。

どんな活動をするの？

活動内容は、地域が抱える課題や、自治体の募集内容によってさまざまです。

● **農業・地域産業**…農作業の支援、特産品の開発、販路づくりなど

● **観光・魅力発信**…観光企画、イベント運営、写真やSNSによる情報発信など

● **暮らしの支援**…空き家の調査・活用、買い物や生活の支援、交流の場づくりなど

● **地域コミュニティ**…地域行事への参加、住民同士の交流促進、子どもや高齢者に関わる活動など

その他にも農林水産業、観光、教育、福祉、情報通信、空き家対策など、協力隊の活動分野は幅広く、一つのテーマに複数の仕事が含まれる場合もあります。

大切なのは「地域との相性」

地域おこし協力隊は、地域の課題を一人ですべて解決する仕事ではありません。地域の人の話を聞き、地域の習慣や考え方を知り、自分にできることを一緒に探していくことが活動の第一歩です。

応募を考えるとときは、仕事内容や条件だけでなく、実際に地域を訪れ、人や暮らしの雰囲気に触れてみることをおすすめします。

色麻町の暮らしを 体験してみませんか？

色麻町への移住や、地域おこし協力隊への応募に興味がある方に向けて、町の暮らしや地域のひととの交流を体験できるプログラムを実施しています。

色麻町で活動する地域おこし協力隊などが町をご案内し、自然や仕事、住まい、日々の暮らしについてご紹介します。まずは実際に色麻町を訪れ、自分に合う地域かどうかを確かめてみませんか。詳しくは、色麻町地域振興課へお問い合わせください。

色麻町での
暮らしや
地域おこし協力隊の
活動を発信
しています

Instagram
更新中!



shikamers_life

着任から
その先へ

STEP 1
地域を知る
応募する

STEP 2
地域へ移住し
活動する

STEP 3
経験を次の
暮らしへ





お米も野菜も水も美味しい
ほどよい田舎暮らしを満喫

色麻町の情報発信と農家さんのお手伝いをしながら、畑を借りて野菜を作り、月1回農業体験イベントを開催しています。いつか農業をやりたいと考え、夫と神奈川県から移住しました。イベントには町外からの常連さんも多く、仙台や利府などからも来ていただいています。

色麻はほどよく都会に近く、広々とした田舎暮らしもできるのでその距離感がいいなと思っています。各家庭に地下水や湧水を引いており、水道をひねれば美味しい天然水です。野菜も関東とは味がまるで違います。昔は野菜嫌いだったので、実家の母にも驚かれています。

田舎暮らしと

都会の絶妙な距離感が魅力



暮らしてみたらこそわかる
地域に必要とされる仕事を

最初は地域活性化住宅で暮らし、築50年ほどの一軒家を借りて引っ越しました。豊の部屋での生活がほぼ初めてで、庭や畑もあっておばあちゃんの家のようなところだ(笑)。協力隊の任期終了後は農家としての独立を目標にしていたのですが、ここで暮らすうちに夫も私もほかの選択肢が見つかりました。農業しかないと思っていたのに、ここで暮らしたからこそその発見でした。

移住先を決める時は、いろいろな町を比べて吟味し、その町を訪ねてみて自分に合うと感じる出会いがあれば、協力隊を経てその先の人生が豊かになると思います。

地域おこし協力隊

農業支援員

住廣 周子さん

Shuko Sumihiro

Instagram
更新中!



おすみ
宮城県色麻町
地域おこし協力隊

地域おこし協力隊

農業支援員

森田 雄介さん

Yusuke Morita

地域おこし協力隊は 日本版ワーキングホリデー

船乗り、エンジニアなどの
様々な経験を経て色麻町へ

静岡の船員を養成する学校で機械を学び、20代はずっと船乗りでした。その後タイに渡り、エンジニアとして現地のメンテナンス会社で働き、帰国後は生まれ育った東京にいたのですが、うちは仙台市にある郷六城の城主なので、その土地の管理のため仙台に移り、そこで色麻町出身の妻と出会いました。妻の実家は稲作農家で、その手伝いで事あるごとに来ていたのですが、義父母も高齢になり引き継がなければと仕事を探している時に協力隊の存在を知りました。今は妻の実家で暮らし、農業法人の従業員として農業振興に取り組んでいます。



異文化交流を楽しみながら
日本の田園地帯の良さを実感

米農家の課題も見えてきましたし、この農業法人と一緒に課題を解決していけそうだと社長とも話していますので、私のエンジニアとしての経験も役に立つと思います。自然に囲まれた田園風景と山々、そして水の美味しさ。東京や東南アジアにいたからこそわかる、日本の田園地帯の良さ。これまでの知識や経験もありますし、年齢的にもとてもいいタイミングで色麻に来ることができて満足しています。

地域おこし協力隊はワーキングホリデーの日本版だと思います。言葉も文化も違う土地で仕事をしながら暮らす醍醐味を、ぜひ味わってください。





移住・定住促進の拠点として リフォームされた古民家を管理

私が所属する株式会社イストは、色麻町と「空き家等を活用した移住及び定住の促進並びに空き家対策に関する包括連携協定」を結んでいて、私は会社がリフォームした「古民家しかまど」の管理を行っています。建物自体未完成なため、軽微な修繕と敷地内の庭の手入れを中心に活動しており、その合間で陶芸などの制作に携わっています。

ここは将来的には会員制宿泊施設になりますが、現在は町が開催するイベントなどに使われています。私も資格を活かして臨床美術ワークショップを定期開催しています。楽しみながら作品を作ることによって右脳を活性化させるプログラムで、年齢を問わず楽しんでいただいています。

ものづくりの夢を

協力隊で叶える



協力隊のミッションの中で ずっとやりたかった夢を実現

空が狭い気仙沼の山間の出身なので、色麻の空の広さが好きです。空の端から端まで夕焼けになるのを、ここにきて初めて見ました。

様々な仕事に就きながら持ち続けていた“作る”ことへの想いがここに連れて来てくれました。最初は現実味がなくて、今でも夢なのかと思うくらい、運を全部使ったかなと思っています(笑)。陶芸窯とガラス用電気炉も設置されていたので、この敷地の土から粘土を作り、器にして、町で開催されるマルシェで販売しています。自分だけでなく誰でもここで陶芸ができるように、設備を整えていく予定です。

地域おこし協力隊

空き家対策支援員

齋藤 真紀さん

Maki Saito



みんなが安心して暮らせる環境

色麻町の 子育て支援

自然に囲まれた環境で、地域みんなが子どもたちの成長を見守り、安心して子育てができるよう、たくさんの支援制度があります。

18歳まで医療費無料

色麻町では、子どもたちが安心して必要な医療を受けられるよう、子育て家庭の経済的な負担を軽減するため、医療費の自己負担分を助成しています。

対象年齢は18歳(高校修了前)まで拡大し、子育て世帯を幅広くサポートしています。

学校・こども園の 給食費軽減事業

色麻町では、前期課程(小学校)の給食費を無償化、後期課程(中学校)についても、物価高騰による給食費の高騰分を町で負担しています。

また、町内に所在する認定こども園を利用する園児の副食費分の一部を町が補助し、子育て家庭の経済的な負担軽減を図っています。

スクールバス・通園バス 利用料軽減事業

色麻町では、色麻学園に同時に通っているご家庭の場合、第3子以降のお子さんのスクールバス利用料を無料としています。

また、町内に所在する認定こども園へ通園バスを利用して通っている園児の保護者の負担軽減を図るために、町でバス運営費を補助しています。

その他の支援事業

その他にも、妊娠・出産から子育てまでの各段階に応じたさまざまな支援事業を実施しています。



●義務教育学校 色麻町立色麻学園



●色麻町学童保育施設



●認定こども園

色麻町

子育て支援センターについて

特別保育事業

子育てに関する講演やイベントを実施します。詳しくは広報かまや子育て支援センターで配布している「おひさま通信」でお知らせします。

なかよしキッズサロン

親子で製作したり、歌やゲームなど、遊びの広場を用意しています。毎月誕生日会も行なっています。

●対象年齢:0歳～未就学児

アトリエサロン

子育て支援センタースタッフがお子さんを見ている間に、普段お子さんがいると難しい趣味の活動や、子育てについての何気ない情報のシェア等の活動をしています。

お問い合わせ

色麻町子育て支援センター



0229-66-1718



日当たりの良い居室で
快適な毎日を過ごせます

地域活性化住宅

今も未来も心地よく

子育てファミリーにピッタリの賃貸住宅が色麻町にあるんです。
移住前のお試し移住としてもご利用可能。



清潔感のある
使いやすい浴室空間



日々の暮らしに寄り添う
キッチン設備



お買いものや通学に
便利な住環境です

入居条件（やまびこ住宅・あたご住宅）

- 地域貢献に積極的に参加できる方
- 小学生以下のお子様がいる方、
もしくはお子様がいない平均年齢40歳未満のご夫婦



実際に生活している方に聞いてみました!!



子育てしている人に生活しやすい家づくりをしているので、住み心地はとてもいいです。収納スペースもたくさんあるし、白の内装がきれいでテンションが上がります。

佐藤 愛望さん

やまびこ住宅 Yamabiko

メゾネットタイプ
3LDK

高校生以下のお子様がいる場合 家賃 35,000円

● 駐車場: 2台まで(月1,000円/台) ● 敷金: 105,000円



あたご住宅 Atago

メゾネットタイプ
3LDK

中学生以下のお子様がいる場合 家賃 45,000円

中学生以下のお子様がいる場合 家賃 35,000円

● 駐車場: 2台まで(月1,000円/台) ● 敷金: 105,000円

お問い合わせ

色麻町建設水道課住宅係

0229-65-2224

色麻町の 支援制度

病児保育事業

●体調不良児対応型

こども園に通園する児童が保育中に体調不良となった場合に、保護者が迎えに来るまでの間、看護師等が預かります。

●病後児対応型

風邪などの病気が落ち着いてきている子どもに対して、家庭保育が難しい場合に保護者に代わって保育士や看護師が保育や看護を行います。

実施施設	わくわくゆめの樹こども園 25-8770
利用対象	満1歳～小学3年生までの児童で次に該当する方 ●町内在住の児童 ●わくわくゆめの樹こども園在籍児童 ●保護者が町内の事業所に勤務している児童
利用時間	午前8時30分～午後5時30分
利用料金	2,000円/1日
利用日	月～金曜日

※給食費やおやつ代がかかる場合があります。

●病児対応型

子どもが病気の際、家庭保育が難しい場合に保護者に代わって保育士や看護師が保育や看護を行います。

実施施設	ありまファミリークリニック併設 「しまうま保育室」 63-2230
利用対象	生後6か月～概ね小学3年生までの児童
利用時間	月～金曜日 午前8時～午後6時 土曜日 午前8時～午後1時
利用料金	2,000円/1日
休業日	土曜日午後、木・日曜日、祝日、年末年始

子育てに関する相談窓口

●子育てホットダイヤル

☎0229-66-1718
月～金曜日 午前9時～午後4時

●子育てホットメール

s-kosodate@town.shikama.miyagi.jp

子育て支援出産祝金

子どもの出産を祝い、子育てに要する経費の軽減、少子化対策、子育て世代の定住促進を図るため支給します。

●支給対象者

出産の日の6か月前から町内に住所を有し出産後も引き続き6か月以上住所を有する保護者の方
※対象者には出生届時に案内します。

支給額	第1子	30,000円
	第2子	50,000円
	第3子以降	100,000円

●申請・問い合わせ先

子育て支援課 ☎0229-65-1731

新生児訪問（こんにちは赤ちゃん事業）

色麻町では、生後4ヶ月までのすべての乳児を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」を実施し、赤ちゃんの健やかな成長と、お母さんが安心して子育てをできるようお手伝いしています。生後2ヶ月までをメインに保健師がおじゃまします。

●申請・問い合わせ先

保健福祉課 ☎0229-66-1700

助産師の訪問について（産後ケア事業）

出産後は、ママ自身の身体の変化や赤ちゃんとの生活など、出産前と比べて環境が大きく変化します。赤ちゃんが生まれて嬉しい反面、分からないことや心配なこともたくさんありますよね。そこで色麻町では、助産師が家庭を訪問し、授乳や赤ちゃんのお世話を専門的にサポートする事業を実施しています。

●申請・問い合わせ先

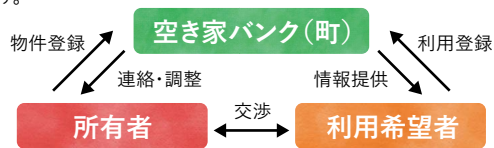
保健福祉課 ☎0229-66-1700



空き家バンク制度

町内の空き家を登録し、住居を探している方へ情報を提供して、マッチングを行うものです。

※町は所有者と利用希望者を繋ぐまでを担い、その後の見学や契約等は当事者間で行います。



●申請・問い合わせ先

地域振興課 ☎0229-65-2123

色麻町定住促進住宅取得等補助金

●補助対象者

- ・年齢が40歳未満の者で、生計を一にする配偶者又は年齢が15歳以下の子を有している者
- ・対象者の世帯構成員全員が、市町村民税等を滞納していないこと
- ・新築工事は、色麻町定住促進宅地分譲に係る建築細則第3条に掲げる建築物の要件を満たすこと
- ・対象者の世帯構成員全員が、暴力団による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員に該当しない者
- ・過去にこの要綱による補助を受けたことがない者

●補助対象費用

- ・町内の事業者と新築住宅の請負契約又は売買契約を締結し取得した際の費用
- ・町内の事業者とリフォーム工事の請負契約を締結し改修等をした際の費用

●補助金額

補助率2分の1(限度額50万円)

※補助金を申請する場合は、工事等を行う前に必ずご相談ください。

●申請・問い合わせ先

地域振興課 ☎0229-65-2123

色麻町三世代同居等支援事業補助金

●補助対象者

- ・対象者の構成員全てが、市町村民税等を滞納していないこと。
- ・親、子及び孫の世帯のいずれかが補助金の交付対象となる住宅に係る新築等の補助金の交付申請の日以降対象住宅に居住することにより、新たに三世代同居世帯等となる世帯であること。
- ・事業完了してから引き続き3年以上にわたり三世代同居世帯等を継続する見込がある者
- ・世帯全員が、暴力団による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員に該当しない者
- ・過去にこの要綱による補助を受けたことがない者

●補助対象費用

- ・町内の事業者と新築住宅の請負契約又は売買契約を締結し取得した際の費用
- ・町内の事業者とリフォーム工事の請負契約を締結し改修等をした際の費用

●補助金額

補助率2分の1(限度額100万円)

※補助金を申請する場合は、工事等を行う前に必ずご相談ください。

●申請・問い合わせ先

地域振興課 ☎0229-65-2123

小学校入学祝金制度

●対象

第3子以降の児童を監護し、その児童が小学校に入学する年の5月1日に町内に住所を有する保護者。

※独立し、別世帯を形成している子は、第1子・第2子に含みません。

●支給金額

児童1人につき3万円

●申請・問い合わせ先

教育総務課 ☎0229-65-2212

放課後児童健全育成事業

学童保育では、保護者及び同居家族が就労等により、日中留守家庭となる児童に適切な遊び、生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ります。

●利用対象者

色麻学園前期課程に就学している児童

●利用区分

通年利用	1年を通しての利用(長期休業利用含)
長期休業利用	学園の長期休業日のみの利用
一時保育利用	月に数回、一時的に1日単位での利用

●利用料金

通年利用	4,000円/月(8月のみ6,000円)
長期休業利用	1,500円(8月のみ6,000円)
一時保育利用	平日300円/日、学園休業日500円/日

●利用時間

学園授業日	放課後から午後6時まで
学園休業日	午前7時30分から午後6時まで

●申請・問い合わせ先

子育て支援課 ☎0229-65-1731

任意予防接種

●インフルエンザ

事 項	内 容
助成金額	3,000円上限
助成回数	1回のみ
対象年齢	中学3年生相当

●おたふくかぜ

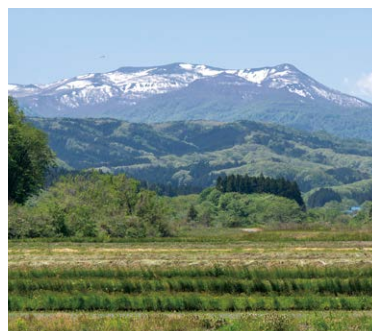
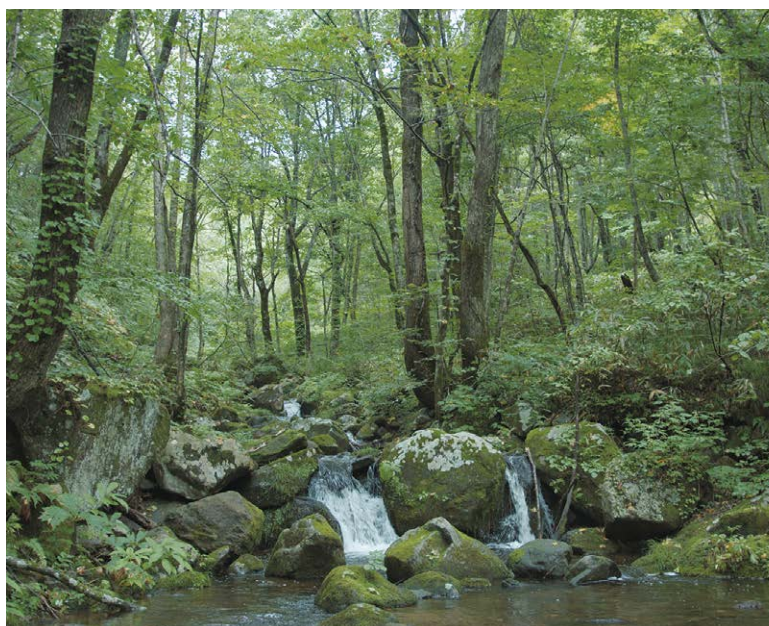
事 項	内 容
助成金額	5,000円上限
助成回数	1回のみ
対象年齢	1歳～3歳未満

●申請・問い合わせ先

保健福祉課 ☎0229-66-1700

色麻の水

奥羽の山々が育んだ
豊かな恵み



色麻町の上水道は、船形山からの湧水や地下水を水源として利用しており、色麻町の豊かな農業や暮らしを支えています。自然のフィルターでじっくりとろ過され、冷涼で澄み切った味わいが魅力です。

お問合せ

色麻町役場 地域振興課

〒981-4122
宮城県加美郡色麻町四竈字北谷地41番地

● TEL 0229-65-2123
● <https://www.town.shikama.miyagi.jp>

令和8年9月発行

色麻町公式サイト



[Website]

色麻町移住定住



[YouTube]

shikamers_life



[Instagram]